

# キリスト教社会福祉学研究

## 34号

### Christian Social Welfare Science

#### 2001



巻頭言	賀川豊彦の再認識	岡田 藤太郎
論文	キリスト教社会福祉についての覚書	阿部 志郎
	21世紀のキリスト教社会福祉への提言	
	—キリスト教社会福祉の原点・ディアコニアを生きたポーデルシュヴィングに学ぶ—	門脇 聖子
投稿論文	I ソーシャルワークにおけるアドボカシー概念の起源と原型 —バラクレートスの思想をめぐって—	木原 活信
	II 人間における愛 —無限のアガペー(神の愛)と人間の現実の相克—	柘植 秀通
	III 「出会い」を中心とした援助者養成についての考察 —実存主義ソーシャルワーク研究の視点から—	信川 美樹
	IV オクタヴィア・ヒルの社会改良観 —ソーシャルワークとしての住宅管理の視点から—	松平 千佳
	V 軽度知的障害と顕著な過敏性があり昼夜逆転生活をしていた児童と家族への援助 —教会と大学相談室の協働—	
	VI キリスト教福祉における社会福祉援助の倫理に関する一考察	園山繁樹・平澤紀子
	VII 支援者が有するパターナリズムの活用と支援者に期待される変容過程 —A. M. サリバンによる H. ケラーへのかかわりから—	滝口 真
研究ノート	I 我が国に住む外国人の高齢化の問題について	市川 和彦
	II 社会福祉現場職員の職場外研修 —中堅職員を対象にした現任訓練の実践—	原博 光
	III 援助における人と人との関係	相澤 純
実践レポート	I 宣教のフロントとしての福祉	吉宮 達信
	II 重度知的後退高齢者(痴呆性老人) 専門 特別養護老人ホームにおけるキリスト教福祉の実践について	森田 弘次
第42回大会特集	開会礼拝 奨励 「見えないものに目を注ぐ」	川野 直人
	基調講演 「21世紀における社会福祉のあり方 —キリスト教社会福祉施設の課題—」	鮎川 英夫
	特別セッション「キリスト教と北九州の福祉」	保田井 勇進
	シンポジウム「新展開の社会福祉を問う —21世紀のキリスト教社会福祉の展望—」	
	発題要旨1 児童施設福祉はキリスト教信仰を基盤に	長谷川 重夫
	発題要旨2 癒しとしての福祉	蛇江 一夫
	発題要旨3 「地の塩 世の光」としてのキリスト教社会福祉実践	市川 栄文
	シンポジウムまとめ キリスト教社会福祉は人間存在と関わる業	岡本 俊一
	全体総括	岸永 文治
書評	I 阿部志郎著『「キリスト教と社会福祉」の戦後』	野三 四子
	II フレデリック・G・リーマ著、秋山智久監訳『ソーシャルワークの価値と倫理』	江藤 直純
	III 関西学院大学キリスト教と文化研究センター編『生命科学と倫理 —21世紀のいのちを考える—』	

コーディネーター